

成績評価における「GPA 等」の客観的な指標の算出について

2020年4月1日更新

本学では「GPA 等の成績評価」を導入しています。

学修への取り組みを質的に把握するための指標となり、学期ごとに比較することで、学修した成果を判断する目安となります。本学では、学生の学修指導の客観的な指標として活用しています。

この制度を通じて、自己の履修を管理し学習成果がどのレベルに位置するかを把握し、さらに勉学を意欲的に行うことが期待されます。

また GPA の評価を、特待生継続審査や奨学金採用審査などの選考基準として適応しています。

GPA は学期ごとに成績点数平均とあわせて学業成績表の下段に表示しますので確認してください。

成績評価点に応じた5段階の GP(グレートポイント)は下表のとおりです。

本学成績評価		成績評価点	GP (グレートポイント)
合格	秀(S)	100～90	4.0
	優(A)	89～80	3.0
	良(B)	79～70	2.0
	可(C)	69～60	1.0
不合格	不可(無資格含む) (D)	59～ 0	0.0
認定	認(N)	なし	対象外
履修変更期間と履修科目削除期間中に取消をした科目			対象外

GPA の算出は、科目の GP(グレートポイント)に、科目の単位数を掛けた値を全て合算して、その値を履修科目(不合格科目・無資格科目を含む)の単位数の合計で割ったものが GPA の値となる。

※履修変更期間中と履修科目削除期間中に取消した科目は、GPA 値算出の計算式には算入されません。

《GPA 値算出式》

$$\text{GPA} = \frac{(\text{履修科目のグレートポイント} \times \text{履修科目の単位数})\text{の総和}}{\text{履修科目(不合格科目・無資格科目を含む)の単位数の総和}}$$

GPA の総合評価

GPA	総合評価
3.5～4.0	大変優秀な成績
2.4～3.4	優秀な成績
1.6～2.3	平均的な成績
1.0～1.5	努力を要する成績
0.0～0.9	より一層の努力を要する成績

GPAとは

GPAは、学期ごとに履修した各科目の成績評価に対して、一定の GP(グレートポイント)を与え、その合計の加重平均を GPA として提示する1単位あたりの平均を数値で表した成績評価方法です。学生が履修した全科目の成績の平均を数値で表したもので、年度ごとのGPAと入学時から通算の平均GPAの2つのGPAが算出されます。本学が導入するGPAの算出式は下記に示すとおりです。

<1>試験の点数に応じて5段階(4.0、3.0、2.0、1.0、0)の数値(グレードポイント)を設定します。なお、不合格となった科目はグレードポイントが0点となります。

<2>各履修科目のグレードポイントに、科目の単位数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を全履修科目の単位数の合計で割ったものがGPAとなります。

【成績評価と GPA】

合否区分	評価	評点	グレートポイント
合格	秀(S)	100点～90点	4.0
	優(A)	89点～80点	3.0
	良(B)	79点～70点	2.0
	可(C)	69点～60点	1.0
不合格	不可(D)	59点以下	0.0
	無資格(△) 受験資格なし		0.0
対象外	履修取消し		GPA計算対象外
	認定科目(N)		GPA計算対象外

【GPA の算出方法】

GPA とは、1単位あたりの成績の平均値を示すものです。

その GPA を各学期の成績表に記載し保護者へ年 2 回郵送します。

なお、GPA の算出基礎になる科目は「すべての科目」(ただし、インターンシップ等点数表記のないものを除く。)を対象とします。

算出式:

(注1) GPA の計算は、小数点第2位以下を四捨五入します。

(注2) 「履修辞退」は、計算式に含みません。

(注3) 毎学期の履修登録科目において、GPA を算出します。

参考)ある学生のGPA[例]

科目名	単位	評価	グレートポイント	グレートポイント × 単位
哲学	2	98 点(秀)	4.0	4.0 × 2 = 8.0
政治学 I	2	75 点(良)	2.0	2.0 × 2 = 4.0
数学 I	2	35 点(不可)	0.0	0.0 × 2 = 0.0
総合科目 I	2	80 点(優)	3.0	3.0 × 2 = 6.0
健康スポーツ	2	65 点(可)	1.0	1.0 × 2 = 2.0
英語 I	2	△(不可)	0.0	0.0 × 2 = 0.0
経済学入門 I	2	95 点(秀)	4.0	4.0 × 2 = 8.0
法学	2	74 点(良)	2.0	2.0 × 2 = 4.0
社会情報入門	2	92 点(秀)	4.0	4.0 × 2 = 8.0
合計	18 単位	—	—	40.0 ポイント
GPA	2.2 (40.0 ÷ 18 = 2.22……小数点第 2 位を四捨五入)			

卒業論文評価基準の指針

1. 評価項目と方法

卒業論文の判定に係る評価は、下表の評価項目内容について評価する。

評価項目内容	
1	卒業研究にまじめに取り組んだか（指導教員との十分な協議を含む）
2	研究の目的達成のために十分な調査等がなされているか
3	研究の目的が明確で、研究としての新規性（オリジナリティ）はあるか（先行研究の十分なレビューを含む）
4	論文が、わかりやすく、誤字脱字がなく、指定された書式に従って書かれているか
5	論文（目的から調査分析、結論までの流れ）の論理展開が明快で、不整合や飛躍はないか
6	調査結果の分析と調査分析結果の考察が十分になされているか
7	結論が社会的あるいは学術的に意義のある（有用な）知見を含んでいるか

2. 判定と認定単位

前項表の「評価項目内容」を総合的に評価し次の 5 段階の判定を行う。

判定	成績素点換算	認定単位	分類
S	100～90 点	4	学則上の 必修科目
A	89～80 点	4	
B	79～70 点	4	
C	69～60 点	4	
D	59 点以下	0	

3. その他

提出が指定された日時に遅れた場合は、評価対象外となり D 評価となることがある。

卒業論文に関する詳細事項は、入学時に配布された学生便覧に記載されているので確認すること。

不明な点などは、専門演習担当教員もしくは教学支援部教務課に問い合わせること。

以上